

## はんだごても工具も不要! 素手で組む チョコッとお試し! ARM32ビット・ 世界の定番 マイコン

今月号には、ブレッドボードにそのまま挿入できるDIPパッケージの32ビットARMマイコンが付属しています。別売のブレッドボードやUSB変換モジュール、スイッチ、LED、USBケーブルなど、実験に使う部品一式を手に入れさえすれば、工具やはんだごてをもっていなくても、おもちゃを組み立てるような感覚でマイコン開発を体験できます。特集では、付属マイコンを動かしながら32ビットARMマイコンを攻略します。

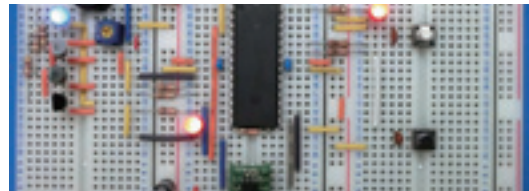
### 第1章 基礎

32ビット・マイコンは、一度は使ってみたい優れた機能をもつ製品が多く、なにをやらせてもサクサク動きます。低価格化も進んでいます。ここでは32ビットを使う理由を解説します。



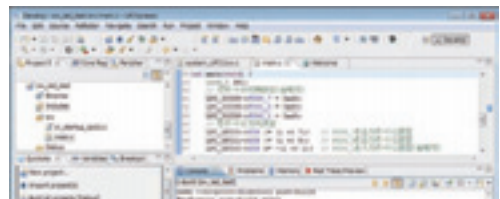
### 第2章 実験ボードの準備

マイコン開発の第一歩はハードウェアを用意することです。付属マイコンや電子部品をブレッドボードに挿していき、学習用の実験ボードを作ります。はんだごても工具も不要です。



### 第3章 開発ツールの準備

ハードウェアに続いて、付属マイコンに書き込むプログラムを制作する準備をします。付属DVD-ROMに収録されている開発ツールをインストールしてセットアップします。



### 第5章 実験

準備が整ったら実験開始です。リセット解除後のふるまいを確認したり、端子の電圧をL/Hさせたり、アナログ信号を取り込んだり…マイコンのもつ機能の一つずつマスタします。

